

C S だより

ommunity school

文責：菊岡 文枝
(CS ディレクター)

涼風の候、保護者の皆様、地域の皆様には本校の教育活動にご協力いただき、誠にありがとうございます。7月17日（金）に第2回学校運営協議会を須津小学校 PC 室で 14:30 から 16:00 まで開催しました。学校運営協議会委員の皆さんにはお忙しい中、全員ご参加いただき熱心に話し合いが行われました。

第2回学校運営協議会

遅くなり申し訳ありませんが、第2回学校運営協議会の報告をします。
まず4月からの子供たちの様子をパワーポイントを使い、委員の皆さんに見てもらいました。その後議事に移り議題の「子供たちが地域で安心して過ごすために、学校と地域ができること」について話し合いました。

CSD からは、登校はするけれど教室に行くことのできない子供たちのための「ほっとルーム」の活動の様子について報告しました。昨年度、別室登校していた子供の一人は学年が変わったことで自分のクラスに登校していますが、すべての子供がスムーズに自分のクラスに入ることができるわけではありません。子供たちが大人になったときに、地域で自立して生活できるように、慣れた場所に居場所を作り、地域の皆さんに見守っていただきながら、子供たちが「ほっとルーム」で安心して過ごせるようにしたいと思います。そのためにより多くの地域の皆さんの協力が必要であることを伝えました。

地域からはまちづくり協議会矢崎会長から、須津地区の子供たちを対象に計画した「須津っ子ラボ」について報告してもらいました。モルック、古代笛作り、浮島沼探検には18名から19名の小学生の参加があったそうです。今後もいろいろ計画されています。ぜひ参加して楽しい時間を過ごしてくださいとのことでした。まちづくり協議会でも子供たちの居場所作りのためにまちづくりセンターを開放しています。

せんげんこふんはくつちようさ 浅間古墳発掘調査を見学しました

8月22日（土）と23日（日）に浅間古墳発掘調査の現地説明会がありました。
浅間古墳は国指定史跡になっていて前方後方墳としては、東海地方で最大級の古墳です。今回は古墳の南側斜面とくびれ部を調査しました。浅間古墳は葺石（ふきいし）が張り付けてありますが、今回の発掘で葺石がところどころ崩落していることがわかりました。しかし、くびれ部（前方部と後方部の接合部分）は富士山が噴火したときの軽石（大渕スコリア）を取り除くと葺石が古墳斜面に差し込まれていて古墳築造当初の状態で見つかりました。後方部の上部からは土師器の高坏（土器の足つきの器）の破片も見つかっています。古墳の上で祭祀（お葬式のようなもの）が行われていたのかもしれません。